

改定保育所保育指針『全体的な計画・指導計画作成の手引き』【改定第2版】新旧対照表

頁	該当箇所	変更前	→	変更後
4	16行目	～保健計画、食育計画、個別の発達支援計画～	→	～保健計画、食育計画、子育て支援計画～
5	下から4行目	～作成されています。それぞれの園の～	→	～作成されています。 <u>しかし、それぞれの園の～</u>
14	下から7行目	しかしルールが理解できなったり。	→	しかしルールが理解できなったり。
15	(5)データ化する 最終行に改行のうえ文言追加	手書きの指導案にも良さがあります。保育者が一人一人の子どもの顔を思い浮かべながら、願いを込めて一字一字丁寧に作成する指導案には温かさがあります。どのような表記にするのかは園で話し合って決めましょう。		
17	②個への配慮 最終行に改行のうえ文言追加	とりわけ年齢の低い乳児・幼児、特に配慮を必要とする幼児に関しては個別の指導計画が必要になることもあります。		
29	内容の取扱い 健やかに伸び伸びと育つ ②	～雰囲気の中で授乳する。	→	～雰囲気の中で授乳する。なお、 <u>食物アレルギーのある子どもへの対応については、嘱託医等の指示や協力の下に適切に対応すること。</u>
30	発達の特徴 ○5つ目	離乳食から幼児食へ徐々に移行する。	→	離乳食から完了期へ徐々に移行する。
35	年間のねらい ○1つ目	～排泄や睡眠などの生活活動を～	→	～排泄や睡眠などの生活や活動を～
36	内容 健康 ③	～遊びの中で戸外で十分に体を動かす。	→	～遊びの中で十分に体を動かす。
49	内容の取扱い 健康 ④2行目	～食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な～	→	～食べる喜びや楽しさを <u>味わい</u> 、様々な～
デイリー 全年齢	特記事項 冬の下あたり 文言追加	-	→	<u>鼻水をかんだ後は手洗いか、アルコール消毒をする。</u>
デイリー 全年齢	特記事項 一番最後の一つ上 (・戸締り～の上)	-	→	<u>そうじをする。感染症流行時は消毒を用いてそうじする。</u>
67 68 70	特記事項 夏 ・3つ目	あせも予防と早期治療。身体の新陳代謝を良くするため～	→	<u>身体の新陳代謝が良いため～</u>
69	特記事項 3つ目	粉ミルクを調乳する場合は70℃以上の湯を使用する。	→	粉ミルクを調乳する場合は、 <u>沸騰した湯を70℃以上に保温し使用する。</u>

69	特記事項 4つ目	家庭で食べていたもの(重湯、つぶし粥、野菜のうらごし等)から徐々に園の離乳食に慣れさせる。	→	家庭で食べていたもの(つぶし粥、野菜のうらごし等)から徐々に家庭と連携してすすめていく。
71	環境構成と援助・配慮 ・3つ目	「・時々手を添えながらも～」の文言を、「・自分で食べる意欲を大切にし～」の上へ位置変更。		
71	環境構成と援助・配慮 ・5つ目	普通食に無理なく～	→	完了期に無理なく～
72 75	特記事項 夏(水遊び) ・2つ目	・水深15cm位、水温25℃位。	→	・水温25℃～30℃。
74	誤植	配慮事項	→	特記事項
75	特記事項 冬 ・3つ目	「・目、皮膚の異常～」の文言を、枠外下へ位置変更。		
76	特記事項 夏(水遊び) ・2つ目	水深15cm位、水温25℃位。	→	水深15cm位、水温25℃～30℃。
77	環境構成と援助・配慮 ・下から2つ目	延長保育児については～	→	延長保育児については～
80	予想される子どもの姿 例	運動遊びやゲーム遊びをする。	→	気の合う仲間や保育者と運動遊びやゲーム遊びを楽しむ。
81	予想される子どもの姿 ・1つ目	～子どもの活動を記入する。	→	～子どもの姿を記入する。
81	予想される子どもの姿 ・2つ目	～という視点で活動を予想する。	→	～という視点で子供の姿を予想する。
81	保育者の援助と配慮 ・1つ目	～予想される子どもの活動が意欲的～	→	～予想される子どもの姿が意欲的～
81	週の評価・反省 ・1つ目	～具体的に次の保育に生かすよう～	→	～具体的に次の保育に活かすよう～
81 83	職員間の連携事項 ・1つ目	～記録する。。	→	～記録する。
92 93	下部 ※3つ目	～原則、乳児・1歳児は5分・2歳児以上は10分毎に確認し、確認後にチェックを入れる。	→	～原則、乳児は5分、1～2歳児は10分毎とされているが、0・1・2歳児共通で5分毎にチェックを実施した方がさらに安心。
100	欄外一番下 文言追加	幼保連携型認定こども園園児指導要録は満3歳以上の園児に関する記録とする。なお、これは、満3歳未満に関する記録を妨げるものではない。		